



# 白鷗 種高同窓会報

## 主な内容

あいさつ／2ページ  
先生・卒業生／4・5ページ  
学校の様子／6・7・8・9ページ

NO.9 2006.4.1

発行／岩手県立種市高等学校同窓会  
〒028-7912 岩手県九戸郡洋野町種市第38地割94番地110  
TEL 0194-65-2145 FAX 0194-65-5654  
ホームページアドレス <http://www2.iwate-ed.jp/tan-h/>  
編集／岩手県立種市高等学校同窓会会報編集委員会

## 海の魅力にせまる



平成18年1月30日（月）、洋野町民文化会館セシリ亞ホールにおいて、第一線で活躍している水中写真家である中村征夫氏（後列中央）による「海中の旅をとおして環境を考える」と題しての講演会が行われました。氏は1945年秋田県に生まれ、20歳のとき独学で潜水と水中写真を始め、現在では国内外の海で、報道・スチール写真、コマーシャルや劇映画等の撮影を行い高い評価を受けています。

講演会や出版物、各種メディアで海の魅力を伝え続けている氏に、海とともに過ごしてきた経験と、その中でぶつかってきた環境問題を講演していただき、生徒たちには地元の自然や、進路について深く考える機会となりました。

# 挨拶

## 同窓会長



同窓会長 日當博治  
(昭和43年度 卒業)

同窓生皆様には、益々ご健勝にてご活躍のことと存じ、お喜び申し上げます。

また、日頃は同窓会の運営に種々ご支援とご協力をいたただき、おかげをもちまして本会が発展を続けておりますことに對しまして、敬意と感謝を申し上げます。

二〇〇六年（平成十八年）、それは私たちの町にとって歴史的な幕開けとなり、記念すべき年となりました。

ご案内のとおり、旧種市町

と旧大野村が本年一月一日に合併し、人口約二万人の新生「洋野町」が誕生し、まさに青と緑、海と高原の融合を目指して新町がスタートしたことであります。

今後は、旧両町村の伝統的な産業・文化を継承する中で、

共に手を携え、躍動感ある新町づくりに協力していく必要性を感じるものであります。さて、洋野町の誕生に伴い、本町では種市高校と大野高校の二つの県立高校を擁立することになりました。町の教育環境を総体的に向上していくためには歓迎すべきことです

が、一方、両校の維持存続が重要課題になつてくることは必然であります。

今、少子化による生徒数の減少を背景として、県立高校の再編統合が進められる中、一町に二つの高校を維持する校が「魅力ある校風」を築き上げ、連携する中で内外各地から多くの新入生を迎える入生なければなりません。そして、

ためには、これまで以上に両

校が「魅力ある校風」を築き上げ、連携する中で内外各地から多くの新入生を迎える入生なければなりません。そして、

このためには、地域を挙げた確固たる支援・協力体制を築き、学校を全面支援していくことが最も大事なことであります。

特にも種市高校の場合、支援組織が同窓会とPTAだけであり、未だ地域全体の広がりになつていらない状況を考える時、今こそ同窓会が決起して種市高等学校振興会（仮称）を設立し、学校運営を支援することの重要性を認識するものであります。昨年の会報で

も呼びかけました。歴史と伝統を刻んできた我が母校を、全国の若者に「学びの殿堂」として存続させていこう！と、この呼びかけにどうかご賛同をいただき、同窓会運営にご協力をいただきたいと存じます。

本年度も七十一年の有為な人材が種市高校を巣立ち社会に羽ばたきます。厳しい世情にはありますが、彼らの前途に洋々たる世界が拓かれますよう大いに期待し、さらに後輩の躍進と母校並びに同窓会の発展をご祈念申し上げ、ご挨拶といたします。

今、少子化による生徒数の減少を背景として、県立高校の再編統合が進められる中、一町に二つの高校を維持する校が「魅力ある校風」を築き上げ、連携する中で内外各地から多くの新入生を迎える入生なければなりません。そして、

このためには、地域を挙げた確固たる支援・協力体制を築き、学校を全面支援していくことが最も大事なことであります。

特にも種市高校の場合、支援組織が同窓会とPTAだけであり、未だ地域全体の広がりになつていらない状況を考える時、今こそ同窓会が決起して種市高等学校振興会（仮称）を設立し、学校運営を支援することの重要性を認識するものであります。昨年の会報で

も呼びかけました。歴史と伝統を刻んできた我が母校を、全国の若者に「学びの殿堂」として存続させていこう！と、この呼びかけにどうかご賛同をいただき、同窓会運営にご協力をいただきたいと存じます。

本年度も七十一年の有為な人材が種市高校を巣立ち社会に羽ばたきます。厳しい世情にはありますが、彼らの前途に洋々たる世界が拓かれますよう大いに期待し、さらに後輩の躍進と母校並びに同窓会の発展をご祈念申し上げ、ご挨拶といたします。

今、少子化による生徒数の減少を背景として、県立高校の再編統合が進められる中、一町に二つの高校を維持する校が「魅力ある校風」を築き上げ、連携する中で内外各地から多くの新入生を迎える入生

なければなりません。そして、

このためには、地域を挙げた確固たる支援・協力体制を築き、学校を全面支援していくことが最も大事なことであります。

特にも種市高校の場合、支援組織が同窓会とPTAだけであり、未だ地域全体の広がりになつていらない状況を考える時、今こそ同窓会が決起して種市高等学校振興会（仮称）を設立し、学校運営を支援することの重要性を認識するものであります。昨年の会報で

も呼びかけました。歴史と伝統を刻んできた我が母校を、全国の若者に「学びの殿堂」として存続させていこう！と、この呼びかけにどうかご賛同をいただき、同窓会運営にご協力をいただきたいと存じます。

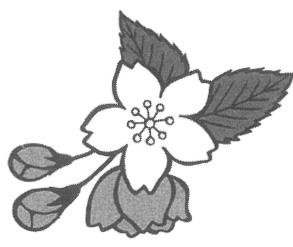
本年度も七十一年の有為な人材が種市高校を巣立ち社会に羽ばたきます。厳しい世情にはありますが、彼らの前途に洋々たる世界が拓かれますよう大いに期待し、さらに後輩の躍進と母校並びに同窓会の発展をご祈念申し上げ、ご挨拶といたします。

今、少子化による生徒数の減少を背景として、県立高校の再編統合が進められる中、一町に二つの高校を維持する校が「魅力ある校風」を築き上げ、連携する中で内外各地から多くの新入生を迎える入生

なければなりません。そして、

このためには、地域を挙げた確固たる支援・協力体制を築き、学校を全面支援していくことが最も大事なことであります。

特にも種市高校の場合、支援組織が同窓会とPTAだけであり、未だ地域全体の広がりになつていらない状況を考える時、今こそ同窓会が決起して種市高等学校振興会（仮称）を設立し、学校運営を支援することの重要性を認識するものであります。昨年の会報で



も呼びかけました。歴史と伝統を刻んできた我が母校を、全国の若者に「学びの殿堂」として存続させていこう！と、この呼びかけにどうかご賛同をいただき、同窓会運営にご協力をいただきたいと存じます。

本年度も七十一年の有為な人材が種市高校を巣立ち社会に羽ばたきます。厳しい世情にはありますが、彼らの前途に洋々たる世界が拓かれますよう大いに期待し、さらに後輩の躍進と母校並びに同窓会の発展をご祈念申し上げ、ご挨拶といたします。

今、少子化による生徒数の減少を背景として、県立高校の再編統合が進められる中、一町に二つの高校を維持する校が「魅力ある校風」を築き上げ、連携する中で内外各地から多くの新入生を迎える入生

なければなりません。そして、

このためには、地域を挙げた確固たる支援・協力体制を築き、学校を全面支援していくことが最も大事なことであります。

特にも種市高校の場合、支援組織が同窓会とPTAだけであり、未だ地域全体の広がりになつていらない状況を考える時、今こそ同窓会が決起して種市高等学校振興会（仮称）を設立し、学校運営を支援することの重要性を認識するものであります。昨年の会報で



# 支部報告

**東京支部長 高城靖雄**

二〇〇六年、皆様におかれましては輝かしい年を迎えて、日頃は同窓会活動に多大なるご尽力を賜り誠にありがとうございます。二〇〇六年、今年は戌年、私個人的には歌手生活二十五年の節目の年でもあります。

今年の目標はいろいろとございますが、その中でこの種市高校同窓会の発展、何とかもつと、もつと盛り上げる事が

二〇〇六年、皆様にとつてすばらしい年と成りますよう、心からご祈念致します。

**久慈支部長 播磨孝則**

種市高校同窓会久慈支部を立ち上げてから、五回目となる支部総会を昨年六月二十五日ロイヤルパーク川崎にて二十四人の出席で開催し、当日は、忙しい中、日當会長様を初め本部役員、東京支部より新保前支部長をお迎えすることができました。また、全員が二次会まで出席してくれま

た。二〇〇六年、今年は戌年、私は、なぜ種高に入学したのか疑問を抱いた時期もありましたが、卒業して社会に出てからは種高同窓生であること

**八戸副支部長 渡辺邦博**

今年は同窓会各支部の連絡を密に大いに盛り上げていきたいと思います。

二〇〇六年、皆様にとつてすばらしい年と成りますよう、心からご祈念致します。

**フレー、フレー、種高！**

同窓生の皆さん、こんにち

は。我々八戸支部も設立して七年目を迎えました。今年度の総会も同窓であります川崎様の経営されております、「芝亭口一丁店」において行われました。大変厳しい予算の中、豪華な料理と飲みきれないほどのお酒を出していただき、大変盛り上がりました。ただ、残念なことに、参加者がちょっと少なく毎年同じ顔ぶれの出席者となりました。来年度

の総会では、今年度よりも多く出席していただきます。

の出席者の参加を希望すると共に連絡体制を整え、支部の活動を盛り上げていきたいと

思います。

資料等を見ますと、多くの

同窓の方々が八戸で活躍なさ

れております。一人でも多くの同窓生の方々にご協力をい

ただき、内容の濃い支部活動

を展開していきたいと思いま

す。来年度も支部総会があり

ますので、多くの方々とお会

いできることを楽しみにし

ております。

種市高校及び同窓生の皆様

のさらなるご活躍を祈念し、

ご挨拶とさせていただきます。

**ガッパレ！ 種市高校**

**磯崎潛水**

代表 磯崎元勝（昭和52年度 水中土木科卒）

〒028-7914 岩手県九戸郡洋野町種市第23地割27番地56  
TEL 0194-65-2002 FAX 0194-65-2009

～飲んで歌える店～  
**一本松**

〒028-7913 岩手県九戸郡洋野町種市25-10-1  
TEL 0194-65-3908



思い出す毎日、無くなつてはしたことには感謝申し上げます。私たちも淋しい思いを致しまでございます。そんな中で種市町の町村合併ではございませんが、各東京のふるさと近隣地区との合同同窓会も良いのではないかと考えて、合併により種市高校がなくなるのではないかという不安がよぎっております。在校中は、なぜ種高に入学したのか疑問を抱いた時期もありましたが、卒業して社会に出てからは種高同窓生であることを誇りに思い、ことある毎に

思い出す毎日、無くなつては私たちも淋しい思いを致しまでございます。そんな中で種市町の町村合併ではございませんが、各東京のふるさと近隣地区との合同同窓会も良いのではないかと考えて、合併により種市高校がなくなるのではないかという不安がよぎっております。在校中は、なぜ種高に入学したのか疑問を抱いた時期もありましたが、卒業して社会に出てからは種高同窓生であることを誇りに思い、ことある毎に

思い出す毎日、無くなつては私たちも淋しい思いを致しまでございます。そんな中で種市町の町村合併ではございませんが、各東京のふるさと近隣地区との合同同窓会も良いのではないかと考えて、合併により種市高校がなくなるのではないかという不安がよぎっております。在校中は、なぜ種高に入学したのか疑問を抱いた時期もありましたが、卒業して社会に出てからは種高同窓生であることを誇りに思い、ことある毎に

思い出す毎日、無くなつては私たちも淋しい思いを致しまでございます。そんな中で種市町の町村合併ではございませんが、各東京のふるさと近隣地区との合同同窓会も良いのではないかと考えて、合併により種市高校がなくなるのではないかという不安がよぎっております。在校中は、なぜ種高に入学したのか疑問を抱いた時期もありましたが、卒業して社会に出てからは種高同窓生であることを誇りに思い、ことある毎に

昭和三十六年八月（中学三年）同級生五人、小学校の恩師と種市の江戸ヶ浜のキャンプ場にテントを張り二泊しました。当時の種市漁港は小さな防波堤でしたが、湾内にはウニがたくさんいてビックリ。その後、昭和五十二年四月家族四人で赴任、昭和五十九年三月までの七年間お世話になりました。

当時は、二十代、三十代の先生が多く生徒も六百人。先生、生徒一体となつて意欲的に取り組んでいました。勿論、文化部、運動部共に活発でありました。

昭和三十六年八月（中学三年）同級生五人、小学校の恩師と種市の江戸ヶ浜のキャンプ場にテントを張り二泊しました。当時の種市漁港は小さな防波堤でしたが、湾内にはウニがたくさんいてビックリ。その十六年後、昭和五十二年四月家族四人で赴任、昭和五十九年三月までの七年間お世話になりました。

その一つ、町内の朝野球。

種市高校職員チームも「白鷗」の名で参加、年間十数試合を二十代から五十代まで遠くは八戸、久慈から駆けつけ、優勝を目指した良き思い出。十一月からは、町体育館でのバーレーボールリーグ戦に参加。こんな様子で先生方の生徒へ向かう姿勢、チームワークの良さに生徒もこたえてくれ、結果を残してくれました。

陸上競技部の顧問は、杉山了三氏と二人。当時の二、三年生は四人（男三人、女一人）、そこに新入生が十一人入部。以降、部員数も男女で三十人を超えるようになりました。当初、校内のグラウンドで練習してましたが、町営のグラウンドに場所を移してから、活躍する部員が多くなり、県から東北、全国へと夢を持つようになってきました。長距離部員が少なく、高校駅伝大会県予選会へぜひ出たいとの願いを受け、ソフトラグビーステラ、レスリング部員の協力を得て参加できることは、部員にとって感激と喜びでいっぱいでした。以降、私の在任中は一度も出場できませんでした。他の種目では男子、やり投げの田子、新人大会八〇〇メートルの花坂、県民体少年B三〇〇メートルの三上、女子は、県民体少年Bやり投げ窪田（東北大会出場）、県民体少年A四〇〇メートルの金澤、高校総体走幅跳び一位、上野（東北大会出場）、高校総体やり投げ滝田（東北大会、インターハイ

り成果を収めた時代でした。教師団も一体感があり、何事にも一生懸命向き合い、校内、地域の交流も活発でした。



佐々木 公博 先生

在任：S52.4～S59.3  
教科：体育  
現在：在住  
盛岡市在住  
黒沢尻工業高校

思い出の地 7年間



陸上競技部の顧問は、杉山了三氏と二人。当時の二、三年生は四人（男三人、女一人）、そこに新入生が十一人入部。以降、部員数も男女で三十人を超えるようになりました。当初、校内のグラウンドで練習してましたが、町営のグラウンドに場所を移してから、活躍する部員が多くなり、県から東北、全国へと夢を持つようになってきました。長距離部員が少なく、高校駅伝大会県予選会へぜひ出したいとの願いを受け、ソフトラグビーステラ、レスリング部員の協力を得て参加できることは、部員にとって感激と喜びでいっぱいでした。以降、私の在任中は一度も出場できませんでした。他の種目では男子、やり投げの田子、新人大会八〇〇メートルの花坂、県民体少年B三〇〇メートルの三上、女子は、県民体少年Bやり投げ窪田（東北大会出場）、県民体少年A四〇〇メートルの金澤、高校総体走幅跳び一位、上野（東北大会出場）、高校総体やり投げ滝田（東北大会、インターハイ

イ出場）、全国都道府県女子駅伝競走大会第一回、第二回岩手県代表として参加の釜谷と部員の一生懸命の取り組みの成果でした。七年間の種市在任中は、風光明媚な土地に住み数多くの皆様方との出会いに感謝いたします。また、良好な同僚と生徒に恵まれ、楽しく過ごせたことをうれしく思っています。これからも、生徒、先生一体となり種市高校の益々の発展を願つてやみません。

前列右



## ガンバレ！ 種市高校



株式会社 岩本電機

代表取締役 岩本明佳（昭和51年度 普通科卒）

〒028-7901 岩手県九戸郡洋野町種市第12地割6番地6  
TEL 0194-65-3930㈹ FAX 0194-65-3899



有限公司 海洋技研

〒030-0846 青森県青森市青葉3丁目10番地の16  
TEL 017-739-5252 FAX 017-739-5265

潜水工事一般  
伊藤海事工業有限会社

代表取締役 増田達也

〒210-0861 川崎市川崎区小島町9-8  
TEL 044-266-2406 FAX 044-266-2408



有限公司 イワテック電子

代表取締役 岩本明佳（昭和51年度 普通科卒）

〒028-7914 岩手県九戸郡洋野町種市23-53-1  
TEL 0194-69-1067 FAX 0194-69-1068



「夢の叶いりつ」、今のところ三分の一。二十七年前の自分と現在の自分を眺めてみると、単純にそんなところかなと思っています。

現在わたしは、月の半分パートの仕事をしながら、傍らフリーライターの仕事をしつ

つ、地元のタウン誌に小説も書かせてもらっています。学生時代の夢は、「ものを書いて暮らしたい」だったのですが、よく見ても、三分の一は思い通りなのではないでしょうか。

高校三年の夏。校則違反?と知りつつ当時流行っていたデイスコに通い、そのことが学

校に知られてしまったのです。

罰則は、担任の先生に毎日反省ノートを提出すること。ところが反省ノートは、いつの間にか先生との交換日記に様変わり。その内容も反省ど



## がんばれ！ 種高



岩手県知事許可(般-15) 土木一式 総合建設業

**有限公司 三弘建設**

代表取締役 佐々木 義弘

〒028-7909 岩手県九戸郡洋野町種市1地割137番地  
TEL 0194-67-2184 FAX 0194-67-2094  
携帯 090-8258-9518 Eメール sankou@ezwah.ne.jp

**株式会社 三和海洋建設**

〒224-0053 神奈川県横浜市都筑区池辺町4774  
電話 045-932-4270



細谷地真由美  
(旧姓 松橋)  
昭和53年度卒業

**【略歴】**  
S54年 種市高等学校卒業  
H10年 ライターとして活動  
ゆきのまち幻想文学賞 佳作  
H11年 同賞 入選  
H12年 同賞 長編賞準大賞  
H16年 同賞 準大賞  
H18年8月 新風舎から  
「40センチの水面」  
(文庫) 出版予定

<現在執筆中の雑誌等>

あおもり草紙  
フィールド (国土交通省)  
法人会ニュース  
月刊ぶれいがいど (小説)  
観光ガイドブック「サーバイ青森」

コの楽しさを延々と綴つたものでした。普通の先生なら叱るところでしようが、當時担任だつた小笠原先生 (実名) は、「松橋 (旧姓) の日記は面白いなあ」と香気に褒めてくださつたのです。

その言葉に触発されて、書くということに目覚めたのかもしれません。

ライターになつたきっかけは、小説です。「ゆきのまち幻想文学賞」がきっかけで主宰の企画会社から依頼を受け

十五歳になるわたしですが、これから夢はもつと欲張りにさまざまな経験を積んで、青森と岩手を舞台にした穩やかで優しい恋愛小説を書きあげることです。残り三分の二の夢は、ゆつたりと叶えていくたい。パタパタと忙しい毎日ですが、夢を追える今がとても幸福、幸運だと思ってい



**株式会社 カンキョウ**

代表取締役 松橋武志 (昭和44年度 普通科卒)

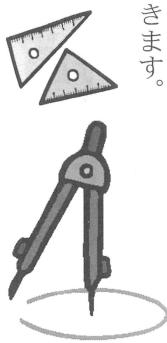
〒028-7913 岩手県九戸郡洋野町種市25-19-2  
TEL 0194-65-2860 (代) FAX 0194-65-5336

◎一般建築設計施工 ◎増改築施工 ◎土木工事 ◎

**有限会社 郷栄建設**

代表取締役 一郷勝美

〒028-7915 岩手県九戸郡洋野町種市15-91-2  
事務所 TEL・FAX 0194-65-3913 自宅 0194-65-3835



海洋開発科では、潜水士や溶接、玉掛など多くの資格取得に取り組んでいることは、ござんじかと思います。

そんな中、昨年度は実に十一年振りに、国家資格である測量士補に一人の合格者が出了しました。そして、今年度は二年生一人を含む三人の合格者（二年 大久保典三年 金沢正樹、澤口瞬）を出すことができました。この資格は全国の合格率が二八・三%（高校生では一三%程度）と難しいものです。

また、普通科においても、各種の資格取得に積極的に取り組んでおり、三年A組の高屋敷紫織が本校初のワープロ実務検定一級に合格しました。（全国の合格率二〇%程度）今後も、多くの資格に挑戦し、取得に向けがんばっていきます。

## ボランティア活動

6月26日（日）に、森林ボランティアとして学校近辺の松林（個人所有）の下草等の刈り払い作業を行いました。

20人の生徒たちと4人の職員が参加し、暑い中、汗を流しながら雑草や雑木を刈り払いました。その後も、海洋開発科3年生の課題研究の中で、奉仕活動として刈り払いを継続しました。

また、10月22・23日に行われた種高祭の中で、生徒たちが取り組んだ募金活動では、来客の皆さんの協力があり、ユニセフと赤い羽根共同募金合わせて、8,462円の募金が集まりました。ご協力ありがとうございました。

そのほかにも介護福祉施設での奉仕活動を始めとする、さまざまな活動に参加しています。今後も活動を続けていき、ボランティア精神をはぐくんでいきます。



海洋開発科では、潜水士や溶接、玉掛など多くの資格取得に取り組んでいることは、ござんじかと思います。

そんな中、昨年度は実に十一年振りに、国家資格である測量士補に一人の合格者が出了しました。そして、今年度は二年生一人を含む三人の合格者（二年 大久保典三年 金沢正樹、澤口瞬）を出すことができました。この資格は全国の合格率が二八・三%（高校生では一三%程度）と難しいものです。

また、普通科においても、各種の資格取得に積極的に取り組んでおり、三年A組の高屋敷紫織が本校初のワープロ実務検定一級に合格しました。（全国の合格率二〇%程度）今後も、多くの資格に挑戦し、取得に向けがんばっていきます。

本校も平成七年度以降毎年出品し、多くの入選作を出してくるが、特別賞となると、部活動で仕上げる学校にはまだ届かない。



## 資格取得

、生徒の活動、

# 奮闘努力

## 国際高校生選抜書展入選

国際高校生選抜書展は「書の甲子園」とも言われ、高校生の最高峰のコンクールとして、国内外から一万点を超える作品で競われる。

今年度は久しぶりに男子生徒二名（2年A組、滝川綾太、中下義智）の作品が入選し、来年度への希望が少しだけつながった・・・かな？

（事）



## ガンバレ！ 種市高校

### 種市霞工株式会社

代表取締役 松橋武志（昭和44年度 普通科卒）

〒028-7913 岩手県九戸郡洋野町種市第25地割19番地  
TEL 0194-65-3565㈹ FAX 0194-65-3509

TVCM「伯方の塩」でおなじみ

歌手 高城靖雄！  
種市高校！

歌手生活25周年

（有）高城総合企画 TEL 047-492-8566  
FAX 047-492-8565



作詞  
岡  
秋  
千  
ひ  
さ

ポイントサービスと共に商品券の発行により地域社会に貢献する

### ダイちゃんカード会

事務局 種市町商工会内 TEL 65-4111

久慈市中町鎮座

巽山稻荷神社

TEL 0194-53-4086  
FAX 0194-53-4120

久慈市夏井町鎮座

若宮八幡宮

TEL 0194-53-4064

宮司 播磨孝則（昭和44年度 普通科卒）



前列左より5人目（伊藤）

## ◆レスリング◆

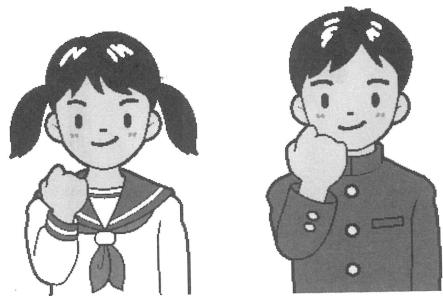
3年 海洋開発科

伊藤 諒

私は今、レスリング部に入部して本当に良かったと思っています。入部したばかりの時は、きつくて大変でしたが、

それも今となつては、すごくいい思い出です。特に、三年間の部活動の中で一番心に残っている事は、新人戦と高総体の団体戦です。なぜなら、部員全員が優勝を目指し一丸となり取り組んだからです。

だからこそ新人戦を二連覇できただのだと思います。しかし、高総体では一丸となつたのに負けてしまい、部員全員が涙しました。こういう経験は高校でしかできないことだと思います。だから、後輩たちには、もつともつといい思い出をつくるために、厳しくとも最後まで諦めないで頑張ってほしいです。



平成17年度

## 進路決定状況

(H 18. 2.17現在)

- ◇進学決定率◇ 93.7%
- ◇就職内定率◇ 97.4%
- (普通科 93.8%、海洋 100%)

## —進路状況—

就職については、ニュース等でも取上げられているように、回復傾向にあると言われていますが、地元そして東北では、いまだ厳しい状況が続いているのが現状です。

種市高校においても上述のとおり、未だ100%の内定とはなっておりません。しかし、現在も生徒、職員ともに全員の内定に向け取り組んでいます。また日々の学習、課外活動等にも積極的に取り組み、進学に向けて頑張っています。



## 全国を夢見て

## ◆バスケットボール◆

2年B組 晴山知加

私たち種市高校バスケットボール部は、去年の東北二次予選で初めてベスト4に入る事ができました。そして、私は優秀選手賞をいただきました。この賞をもらいベスト4に入ることができました。

私は優秀選手賞をいただきました。この賞をもらいベスト4に入ることができました。そして、私は優秀選手賞をいただきました。この賞をもらいベスト4に入ることができました。今年は、去年以上の成績、県優勝を目指して革命を起こしたいと思います。

らこそ、それができた時、私たちメンバー全員がつながったと言えるのだと思います。このつながりを大切にし、このメンバーで頑張りたいと思います。

## がんばれ！ 種市高校

**JOP****日本海洋計画株式会社**

総合潜水工事・海洋調査測量 設計施工

代表取締役 横尾嘉明

〒234-0052 横浜市港南区笹下1丁目1番15号  
TEL 045-845-3810㈹ FAX 045-845-3165

NASHIKENSEI

郷土の未来を拓く

**梨子建設株式会社**

代表取締役 梨子洋一

本社 盛岡市高松4-20-20 (0196) 61-2411  
北部営業所 九戸郡洋野町種市39-8-2 (0194) 65-5477**東日本海洋建設株式会社**

取締役 新保幸則

営業所／〒290-0051千葉県市原市君塚5-13-11  
TEL 0436-22-5114 FAX 0436-23-2245  
本社／〒290-0051 千葉県市原市君塚1-3-2 TEL 0436-22-5114**日晃海事**

代表取締役 工藤清美

青森県大字浪館字志田1番地1  
TEL 017-782-1317 FAX 017-782-1354



▽男子バレーボール部

高校総体地区予選  
予選通過ならず  
県民体育大会地区予選  
予選通過ならず  
新人戦地区予選  
予選通過ならず

▽女子バレーボール部

高校総体地区予選  
3位通過  
高校総体  
対専北 0-2  
【予選リーグ】  
2-0 大野  
0-2 久慈東  
新人戦地区予選  
0-2 久慈東  
対軽米 0-2  
3位通過



▽卓球部

県民体育大会地区予選  
【個人戦（シングルス）】  
大宮雄輔 ベスト8予選通過  
県民体育大会  
【個人戦（シングルス）】  
大宮雄輔 3-1-2 盛工  
0-1-3 関工

新人戦地区予選  
【学校対抗戦】 3位通過  
対西和賀 3-1  
対金ヶ崎 2-3

▽陸上競技部

高校総体  
毛糠俊弥 準決勝進出  
毛糠俊弥 準決勝進出  
谷崎正太 予選敗退  
走り幅跳び 安藤尊・関口宏樹 予選敗退  
走り高跳び 真下信幸・重文字責哉・  
齊藤香子 予選敗退  
やり投げ 大井光春 予選敗退  
やり投げ 関口宏樹・田鎖倫太郎 予選敗退  
走り幅跳び 大久保典・高谷直也 予選敗退  
走り幅跳び 北向拓一・北向・田鎖・関口  
準決勝進出 3000m 800m 200m  
野田真鈴 下道一恵 準決勝進出  
下道一恵 準決勝進出  
滝川さくら 予選敗退



大宮直人 予選敗退  
・谷崎 予選敗退  
眞下・毛糠・重文字  
・下道一恵 準決勝進出  
野田真鈴 予選敗退  
滝川さくら 予選敗退

▽吹奏楽部

全日本吹奏楽コンクール 岩手県大会  
【高等学校の部Bクラス】 金賞  
【高等学校の部Bクラス】 銀賞  
久慈地区大会  
全日本アンサンブルコンテスト  
岩手県大会  
高等学校の部  
木管5重奏 銀賞

▽工業クラブ

岩手県高等学校工業クラブ連盟  
【研究発表の部】 優秀賞  
「ウ」殻（産業廃棄物）を  
有効利用したもの作り  
(昨年度からの継続研究)



(ご協賛掲載50音順)

# ガンバレー！ 種市高校

ウニ専門卸・全国発送

有限会社 横道海産

代表取締役 横道 勉（昭和28年度 潜水科卒）

岩手県九戸郡洋野町種市23-128-10 TEL 0194-65-5251

各種新車 中古車販売・車検・板金塗装

有限会社 八木自動車サービス

代表取締役 吹切 成人（昭和54年度 普通科卒）

〒028-7914 岩手県九戸郡洋野町種市32-59-3  
TEL 0194-65-4526 FAX 0194-65-5234

里見印刷

〒028-7914 岩手県九戸郡洋野町種市第22地割129番地80  
TEL 0194-65-2653・4240 FAX 0194-65-2653

八木郵便局

局長石橋勝彦（昭和53年度 普通科卒）

〒028-7903 岩手県九戸郡洋野町種市1-57-2  
TEL 0194-67-2103

誕生  
洋野町 HIRONO  
種市町 大野村

同窓生の皆様には、すでにご承知のことと存じますが、平成18年1月1日、種市町と大野村が合併し、人口約二万人の「洋野町」が誕生しました。

よく話題に上がることですが、洋野町となつても「種市高等学校」の名前は変わりません。

さて、同窓生の皆様には遠く故郷を離れ活躍されている方も多いと思います。旧知の友との便りに使っていただければと、変更後の住所を掲載させていただきますので、ご活用ください。

| 合併前              | 合併後            |
|------------------|----------------|
| 種市町第〇地割〇番地〇      | 洋野町種市第〇地割〇番地〇  |
| 種市町大字中野第〇地割〇番地〇  | 洋野町中野第〇地割〇番地〇  |
| 種市町大字有家第〇地割〇番地〇  | 洋野町有家第〇地割〇番地〇  |
| 種市町大字小字内第〇地割〇番地〇 | 洋野町小字内第〇地割〇番地〇 |
| 大野村大字大野第〇地割〇番地〇  | 洋野町大野第〇地割〇番地〇  |
| 大野村大阿子木第〇地割〇番地〇  | 洋野町阿子木第〇地割〇番地〇 |
| 大野村大字帯島第〇地割〇番地〇  | 洋野町帯島第〇地割〇番地〇  |
| 大野村大字帯島字弥栄〇番地〇   | 洋野町帯島字弥栄〇番地〇   |
| 大野村大字水沢第〇地割〇番地〇  | 洋野町水沢第〇地割〇番地〇  |
| 大野村大字上館第〇地割〇番地〇  | 洋野町上館第〇地割〇番地〇  |

## 平成16年度 同窓会収支決算報告

1 収 入

| 項目     | 本年度予算額    | 本年度決算額    | 比較増減   |            | 摘要              |
|--------|-----------|-----------|--------|------------|-----------------|
|        |           |           | 増      | 減          |                 |
| 1. 繰越金 | 666,461   | 666,461   |        |            | 前年度繰越金          |
| 2. 会費  | 420,000   | 391,950   | 28,050 | 2613件×150円 |                 |
| 3. 年会費 | 300,000   | 238,000   | 62,000 | 238口       |                 |
| 4. 協賛金 | 290,000   | 290,000   |        |            | 頑張れ種市高校(27団体より) |
| 5. 雑収入 | 39        | 5         | 34     |            | 銀行利息            |
| 合計     | 1,676,500 | 1,586,416 | 90,084 |            |                 |

2 支 出

| 項目         | 本年度予算額    | 本年度決算額  | 比較増減    |         | 摘要   |
|------------|-----------|---------|---------|---------|--|
|            |           |         | 増       | 減       |  |
| 1. 事務費     | 20,000    | 0       | 20,000  |         | ラベルシール                                       |
| 2. 通信費     | 40,000    | 29,913  | 10,087  |         | 諸会議案内(切手、折込み)                                |
| 3. 印刷費     | 0         | 0       |         |         | 封筒、払込用紙(各10,000枚)                            |
| 4. 会報費     | 530,000   | 498,035 | 10,390  | 31,965  | 会報印刷(228,900円/4500部)<br>会報送数(269,135円/3953部) |
| 5. 会議費     | 40,000    | 50,390  |         |         | 役員会、各委員会                                     |
| 6. 旅費      | 100,000   | 100,000 |         |         | 東京支部総会(4名)                                   |
| 7. 事務局手当   | 30,000    | 30,000  |         |         |  |
| 8. 支部援助費   | 150,000   | 150,000 |         |         | 東京・八戸支部・久慈支部                                 |
| 9. 卒業記念費   | 50,000    | 40,040  | 9,960   |         | 卒業証書入れ筒                                      |
| 10. 交際費    | 20,000    | 5,000   | 15,000  |         | 職員歓迎会、送別会等                                   |
| 11. 振込み手数料 | 25,000    | 11,880  | 8,120   |         | 年会費振込み手数料                                    |
| 12. 雑費     | 35,000    | 60,593  | 25,593  |         | 卒業アルバム等、佐々木様葬儀に關わる費用                         |
| 13. 予備費    | 641,500   | 0       | 641,500 |         |  |
| 合計         | 1,676,500 | 975,851 | 35,983  | 736,632 |  |

3 差引残高 (収入) 1,586,416円 - (支出) 975,851円 = 610,565円(次年度へ繰り越し)

### 会員の活躍情報を寄せください

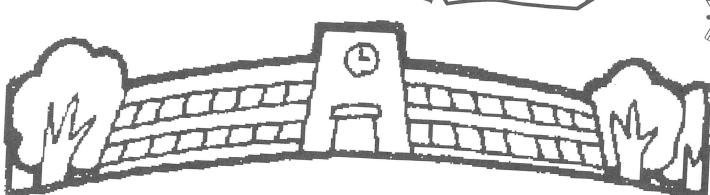
同窓会員で活躍されている方について、情報をお寄せください。

全国各地で活躍されている方々を同窓会編集委員が取材し、会報を通じて紹介していきたいと思います。また、会員の活動の案内など掲示板的な感覚で情報をお寄せいただいても結構です。お気軽に情報をお寄せください。

また、この会報にて掲載してほしい記事、「あの先生は今」で取上げてほしい先生などありましたら編集委員までご一報ください。

(電話、ファックス、メール問い合わせ)

メールアドレス taneichi @ tan-h.iwate-ed.jp



種市町は町村合併で、一月に新しい町ひろのちようになります。氏名や自治体名にも「野」が付くのは多いが、洋野はどうか全国唯一? 全国唯一といえば潜水士養成校としての本校、全国から強い意志をもつた若者が集まるのは本校のいいところ。元気印。このことは大事にしたいし、ここに種高があることを、今後もどんどん発信していきたい。

新聞スポーツ欄でレスリングはもちろん、最近はバスケがめだつてきました。今後の活躍が楽しみです。(館野)

### 編集後記



同窓会費の納付について

同窓会の運営は、会員の皆様からご協力いただきしております。年会費によって貯われています。この会報につきましても多くの費用を必要としております。全国で活躍されている会員の皆様と母校とを結ぶかけ橋として継続発刊し、できるだけ多くの会員の皆様のお手元に届けていきたいと考えております。立上げました。

ところが、同窓会の運営費の確保が苦しい状況にあり、思ったような活動ができる現状にあります。つきましては、会員皆様の絶大なるご協力を賜りたく、会費納付についてご案内申し上げます。

会費一、〇〇〇円/年会費の納付には、同封の振込用紙をご利用ください。

また、総会・支部総会の際にも受付けております。

ご協力を願いたします。

(住所を変更された場合は

事務局へお知らせ下さい)

### 事務局からのお願い